

なかがわ

広報

2014.5



No.104

●那珂川町議会議員選挙結果	2
●環境学習支援制度のお知らせ	6
●犬の登録及び狂犬病予防注射日程	7
●入学・入園おめでとう	8
●那珂川町ブランドスタンプラリー	15



春季特別展 - 広重が見た江戸の名所 - 名所江戸百景展



第104回

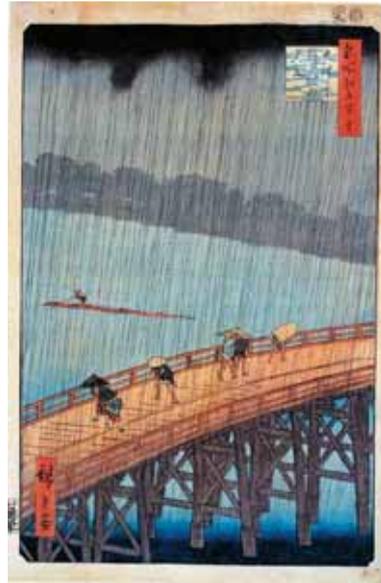
はじめに歌川広重 (1797~1858) の略歴を紹介します。広重は江戸八代洲河岸同心30俵2人扶持安藤源右衛門の長子として出生し幼名を徳太郎といたしました。

15歳頃に元服して安藤重右衛門と改名し父の後を継ぎ、定火消同心になります。また浮世絵師としては22歳頃に歌川広重と画号を許され作品を発表し始めますが、叔父に長子の仲次郎が生まれたために広重は安藤家を仲次郎に譲り、浮世絵師として独立します。広重は天保4年(1833)頃に出版した「東海道五拾三次之内」で一躍人気絵師の仲間入りをし、以降風景画を中心に作品を制作していきます。中でも「東海道」シリーズは生涯に20種類以上制作しています。

いま展示している「名所江戸百景」は広重が生涯に描いた最大の作品で晩年の揃物です。しかし広重がこの作品を制作する4ヶ月前に「安政の大地震」が発生します。安政2年10月2日夜10時頃に震度6の地震が発生し、死者1万人以上、倒壊家屋14千余軒という被害があり、当然火災も発生しました。しかし広重の「名所江戸百景」からはそのような大災害があったことを窺い知ることは出来ないほど完璧な街並みが描かれています。しかし、被害が大きかった浅草、本所、深川、吉原、千住辺りの作品は少ないです。この地域は「安政大地震」で最も深刻なダメージを受けた地区で広重もあまり作品として紹介していません。

ではなぜ広重は江戸をテーマにして描いたのでしょうか。一つは震災前の江戸の景観を思い出しながら描いた。もう一つは震災から復興した江戸の景観を想像で描いた。はたしてどちらなのでしょう。

図は黒色の墨壺の天ぼかしで表現された夕立の雲、突然降りはじめた雨に橋を往来する人々は先を急ぎ早足になります。傘をつぼめ雨の他にも風も強く吹いているようです。ゴザを頭から被り雨除けにして



名所江戸百景 大はしあたけの夕立

いる人、三人で一つの傘に入っている人たち、川には一艘の筏が見えます。対岸の森は雨に煙りよく見えません。ここは將軍の御座船安宅丸が係留されていた場所でそのまま地名になりました。左側にはわずかに火の見櫓が見えます。画面を右上に横切る橋と川を挟んで対岸は左上に横切る不安定な構図で表現しています。この作品は印象派の画家ファン・ゴッホが模写したことで知られています。

馬頭広重美術館長 市川 信也

- 【会 期】 前期 5月18日(日)まで
- 【休 館 日】 月曜日、祝日の翌日
- 【作品解説】 5月24日(土)午後1時30分～ ※無料
- 【開館時間】 午前9時30分より午後5時まで
(但し入館は午後4時30分まで)
- 【入 館 料】 大人 700円(630円)
高・大学生 400円(360円)

※()は20名以上の団体料金。

※中学生以下は無料。

※障がい者手帳等をお持ちの方・付き添いの方1名は半額。

美しい文字を
書く人になる

KUMON 公文書写
ペン習字
かきかた
家ペン
名筆

5月 無料体験(40分)開催
5月11日(日)・5月31日(土)

公文書写は大人から子どもまで学べる教室です!!

きれいに書く
コツを学べます

公文書写の教材は基礎基本から学べる内容となっています。また、文字や文章をきれいに書くコツを学べるので、着実に書字力を身につけることができます。ぜひお問い合わせください。

まずはお気軽に
お問い合わせ下さい!!

指導者: 関谷 由紀
連絡先: 090-5190-1607
住 所: 那珂川町馬頭336
教 科: ペン習字 かきかた
教 時: 月・火曜日 10:00~12:00
14:00~18:00

<5月無料体験・学習日>

12日・13日・19日
20日・26日・27日



有料広告スペース(申し込み ☎0287-92-1114)

